

関東甲信越支部長活動報告

2011年9月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

UIA 東京大会が無事終了しました。最終的に 110 ヶ国から建築家が参加した大会となりました。加盟国 126 ヶ国ですから、世界中から非常に注目された大会であったことが見て取れます。登録者数は 5,100 名を数え（内、700 名が招待）、海外 1,900 名（200 名招待）、日本から 3,200 名（500 名招待）、東京フォーラムホール A 公開プログラムへの一般参加者 7,000 名、各種プログラムへの一般参加者は数万人規模となりました。5 年前から 5 月に開催してきた Open! Architecture だけでも 7,000 名の参加者数を数えました。建築団体が協力して成し遂げた国際大会ですが、本当の意味で各団体が連帯するのはこれからです。特に若手建築家にとって魅力的な国際市場との連携もこれからが本番です。災害を通して地域コミュニティーにおける専門家の重要性を訴えたこの大会ですが、その成果を実現していくのもこれからです。UIA 東京大会をスタート地点として、一人一人が輝く 2050 年の建築家像を作り上げていきましょう。

支部長活動報告

- 1 日 UIA 大会実施本部開催。
- 2 日 支部常任幹事会開催。翌週の支部役員会議案について協議を重ねる。UIA 大会について。臨時総会成立の条件となる全会員の 2 / 3 以上の総会出席について。2012 年 JIA 全国大会、アーキテクト・ガーデンについて。
- 5 日 宮内庁、皇宮警察、警視庁、丸の内警察、丸の内消防の立会の下、開会式典並びに両陛下レセプションに関する国際フォーラム実地確認を行う。夕刻より災害対策委員会報告会に出席する。総計 603 名（述べ）の JIA 会員が東北の災害支援活動を行った。委員による報告に続き、岩手、宮城、福島から活動報告が行われた。被害度調査などは一段落着いたが、専門家に求められる復興支援はこれからで、継続的な活動が必要だ。
- 8 日 UIA 大会実施本部開催。開会式当日のキュー出しを上浪が行うこととする。
- 9 日 午前中に UIA 大会職能シンポジウム実行委員会が開催される。災害への取り組みの中で 2050 年の社会とライフスタイルを話し合う場とする。このシンポジウムの中で「JIA 建築家宣言」を発表する予定。午後に支部役員会が開催される。臨時総会成立のため、地域会へ協力をお願いする。全会

- 員の2/3賛成票を得るためまずは総会出席（書面表決、委任状の提出を含む）が必要で、特に関東甲信越支部の約半数、全国会員数の約1/4が所属し、顔の見えない会員が多い東京地域が難関だ。
- 14日 国際委員会が開催される。29日より始まるUIA総会について協議する。総会において日本（JIA）は7票を持つ。最終日の1日には次期会長選挙、並びに6年後の大会開催地選挙が行われる。国際委員会としての評価をレポートに纏めることにする。臨時総会出席はがきの回収がひどく悪い。ほとんどの支部で20%程度。個別に働きかけをしないと2/3の参加が難しい。総務委員会並びに地域会を中心に働きかけを進める。
- 21日 今月はほとんど毎日UIA大会準備のための打合せや準備作業を重ねている。台風が直撃したため、福島子供プロジェクトキックオフ会が中止。
- 22日 第一議員会館へ馬淵衆議院議員を訪ね、「2050年の建築家」シンポジウムへのメッセージを頂き、ビデオに撮影する。21日午後まで、開会式典出席並びにシンポジウムへパネリストとして出席する意向の馬淵議員だが、衆議院予算委員会が開かれることが決まったため残念ながら欠席となる。
- 23日 式典について打合せ。JIA並びにJOB事務局は明日のTIFへの引っ越し準備をしている。
- 24日 午後よりTIFにてJOB, JIA事務局と最終打合せ。
- 25日 今日からUIA東京大会。朝9時よりTIFにて学生を含めたボランティアスタッフを集めたオリエンテーションが行われている。途中で切り上げ、11時より始まるJIA理事会に参加。臨時総会出席者数について報告がある。出席予定者数、書面表決数、委任数を含めて全会員の約77%の出席が確認された。9月20日に5会会長による「建築・まちづくり宣言」が発表されたことが説明された。「2050年の建築家」シンポジウムの会場で発表される予定の「JIA建築家宣言」について説明がある。文言についての意見が出され、臨時総会までに修正することにする。2012年JIA全国大会について横浜を会場とする案で薦めていることを報告する。9月中旬に横浜芸術劇場の予約が取れていることを報告するが、学会の全国大会日程とかぶるため、再考することにする。9月初旬の台風12号により近畿地方では約100名の死者が出た。海に続いて山の被害も深刻である。災害対策委員会並びに災害ファンドは地震のことしか想定していない。早急に見直しが必要であることを確認する。JIA臨時総会が開催される。委任状、書面表決含めて全会員の77%の出席が確認され、総会の成立が宣言される。
- 25日～1日 UIA東京大会（第24回世界建築会議）が25日夕刻の前夜祭を皮切りに始まった。六本木ヒルズタワーの53階美術館、52階展望フロア、51階ヒルズクラブのバンケットを借り切り、約2,000名の入場者を数えた。26日（月）の開会式典は天皇皇后両陛下のご臨席を賜る。28日の基調講演で

講演予定のブータン王国ティンレイ首相は予定を早めて 25 日に来日され、来賓として開会式典に出席された。式典にはホテルオークラ石草流井出草華家元による生花が舞台に花を添えた。式典に続き寶生流高橋憲正先生が舞を披露され、世界から集まった建築家に日本の伝統美を印象づけた。式典の後、両陛下が別室にて、来賓並びに世界の建築家約 100 名と一人一人お話しを交わされた。建築 5 会から会長が出席され、JIA からは副会長並びに 10 支部支部長が出席し両陛下と個別にお話しを交わした。26、27 日に開催された 5 つのテーマセッションは聴衆がホール A を埋め尽くし大きな成果を収めた。26 夜の安藤忠雄講演会は一般公開だったこともあり 5,000 名ホールは入場制限され、フォーラムの中庭はホール A に入るため並んだ人で完全に埋まった。27、28 とクリスト氏やブータン国王首相ティンレイ氏が基調講演を行った。ティンレイ首相のスピーチが終わると 5,000 人ホールの聴衆は感動して総立ちの拍手が起きた。一万人の建築家展やアーキニリング展など、一般市民に建築を印象づけるイベントは一般紙にも大きく紹介された。この 3 日間の来場者数は 5,100 名でアジア人よりも欧米人の多さが際立っていた。約 1 割が当日登録であったのも特筆すべきだと思う。29 日、30 日、1 日は UIA 総会が開催され、国際フォーラム B7 ホールで加盟国 126 ヶ国の代表団が議論する様は壮観だった。総会の最後には新役員の選出が行われ、最終日の 1 日は UIA 新会長選挙と、6 年後の開催立候補国シンガポール、ソウル、メキシコによるプレゼンテーションの後、投票が行われ、2017 年 UIA 大会はソウルで開催することが決まった。毎日、特に 28 日以降、様々な国のレセプションパーティーがフォーラムやホテル、大使館などで開催された。アジア各国からの進出が華やかなアフリカからは、日本の積極的な関与を期待する声が上がっていた。総会の前後にはアルカシア（アジア建築家連合）がアフリカ建築家連合、ロシア建築連合との提携調印を行うなど、様々な国際交流が交わされた。



2011年10月1日作成 上浪 寛



「UIA 東京大会」

<http://www.uia2011tokyo.com/ja/>

「一万人の建築家展」

<http://www.10000architects.com/>